

入選 低学年の部

ママとのおやくそく

福岡県

飯塚市立平恒小学校二年

水野 未和

わたしのベッドのよこに、ママが「みわちゃんの七かじよう。」と、紙に書いてはつてあります。

ママは、ほんとうに、おもちゃをゴミぶくろの中にみんな入れて、お外に出しました。

一、おねえちゃんのじゃまをしない。

わたしは、おこつてとなりのおばあちゃんのいえに、いえでをしました。でも、つぎの日、うちにかえたら、ママは

二、よばれたら、おへんじをする。

ニコニコして「いえでむすめ。」とおこられました。

三、「いやだ、いやだ。」わがママをいわない。

でも、いまは一ばん目のやくそくは、ときたままもって

四、はみがきをちゃんとする。

いません。

五、いわれたことは、すぐにする。

ママのぶつだんのそうじや、ごはんや水を、ちゃんと

六、ジュースばかり、のまない。

あげて、なむあみだぶつママ、いってきます。おはよう

七、早くねる。

ただいま。おやすみ。ママのことを、思っています。わたしの七かじよう、ママありがとう。

おやくそくをまもれなかったときは、おもちゃも、よう

もっとママのいうことが、おべんきように、なりました。

ふくもぜんぶすてます。

ママ、ごめんね。ママ大好きだよ。